(様式1・小学校用①)

平成30年度 学校評価報告

草加市立長栄小学校

(平成31年2月8日作成)

1 学校教育目標	
○学校教育目標	よく考える子(知)・思いやりのある子(徳)・たくましい子(体)
○めざす学校像	やる気・笑顔・優しさ溢れる長栄小学校
○経営方針	かけがえのない 児童一人ひとりを大切にし 豊かな心をはぐくみ 学力・体力を伸ばす 学校教育の実現
○めざす子ども像	夢に向かってがんばり続ける長栄っ子
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
1「意欲をもって学ぶ」学力・体力を向上させる学校	○全教職員の共通理解のもと、一人ひとりを大切に したきめ細やかな教育活動を実践できた。 ○小中一貫教育に関する取組において、教員同士の 共通理解と親交を深め、異校種接続がスムーズに 行われた。 課題 ●教育環境の充実と学校の環境美化に力を入れる。
2「道徳教育の充実」心を育てる学校	
3「学校はきれいでなければならない」 安全・安心で美しい学校	
4「ふるさとで子どもを育てる」 家庭と地域と協働する学校	
5「チーム長栄小」報告・連絡・相談を徹底し、 共通理解・共通実践する学校	

4 評価表 ※評価基準 [A:十分達成している B:おおむね達成している C:やや不十分である D:不十分である]				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	- 学校経営目標、方針 - 校務分掌組織 - 適所への適材配置 - 職員会議等の運営 - 予算の執行・決算、監査等	A	○学校教育目標達成に向けて、全教職員が協働し、組織的、計画的な教育活動を推進することができた。 ●校務分掌の仕事の軽重の偏りと教員の特技特性を活かした組織の改善と分掌の見直しを更に進める。
	②研究・研修	- 研究組織、計画、実施 - 校内研修の推進 - 授業改善への取組 - 校外研修会への参加 - 人材育成	A	○本年度より、「特別の教科 道徳」の委嘱を受け研究を深め、教職員全体で指導法・評価の在り方について共通理解・共通指導ができた。 ●研修を軸とした、教職員の資質および授業力の向上のためのPDCAサイクルの更なる推進を図る。
	③保健管理・安全管理	- 保健計画、安全計画 - 環境衛生の管理 - 健康観察、安全点検 - 緊急事態発生時の対応 - 危機管理マニュアルの作成・活用	B	○安全・安心に生活できるよう、保健管理及び安全管理を行うことができた。またあらゆる自然災害を想定した小中合同の避難訓練や幼保小中合同の研修会等による保健、安全等の事故防止の実施に努めた。 ●緊急事態発生時における避難体制について、町会をはじめとする地域とのより密接な連携と共通理解の推進。
	④情報管理・施設設備管理	- 個人情報の管理、保護 - 施設設備の管理と有効利用	B	○個人情報の適切な管理及び保護に努めることができた。また施設設備の管理を行い迅速な修繕を実施した。 ●施設の整備のさらなる充実と保護者にわかりやすい個人情報の管理体制の推進を図っていく。
	⑤地域との連携 開かれた学校	- 学校情報の発信 - 学校公開の実施 - 学校評議員制度の活用 - 地域、校種間連携 - PTA活動の活性化	A	○ウエルカムゲストデイズ、音読朝会、音楽朝会等、多くの方が学校を訪問する機会をつくることができた。学校だよりの配布、HPの工夫改善と見直しを図り、フェイスブックの更新に努めた。 ●異校種連携の充実を図る。
	⑥幼保小中を一貫した教育	- 目指す子ども像の実現に向けた取組 - 教育課程の編成 - 一貫教育推進のための組織づくり	A	○中学校区3校の定期的な連絡協議会を開催した。また幼保を交えた連絡会や研修会を行った。 ●草加市幼保小接続期スタートカリキュラムの充実と適正な実施の確認。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	- 教育課程の編成、実施 - 教育計画の作成 - 教育活動の評価 - 目標、方針の周知 - 授業時数の配当、確保	A	○教育課程計画に基づき、教育活動の実施・評価を行い、児童の力の伸長を図る事ができた。また、授業時数の配当も適切に行うことができた。 ●道徳・総合的な学習の時間等の時数と取組の内容。
	②教科指導	- 指導計画の立案 - わかる授業づくり - 指導方法の工夫と改善 - 評価、評定の工夫 - 外部人材の活用	A	○校内研修に基づいて、導入や話し合い活動の工夫を行い、学力向上に取り組んだ。評価の工夫改善を実施した。 ●授業と繋がった家庭学習の定着と内容の充実を図る。長栄授業スタイルとノート指導の継続。
	③道徳教育	- 全体計画の作成 - 各教科との関連 - 道徳実践力の育成 - 家庭、地域社会との連携 - いのちの教育の推進	A	○草加市教育委員会の指導を受け、指導者を招いての理論講習や、7学級での授業研究を通し、授業力の向上を図った。 ●心を育む教育における家庭や地域社会との共通理解を深め、来年度の研究発表に向けて授業力向上と研究のまとめを行う。
	④外国語活動	- 指導計画の立案 - 指導方法の工夫と改善 - 評価、評定の工夫 - 各教科、道徳教育との関連 - 中学校との連携	A	○学級担任がALT、小中連携教員と分担して指導し、英語に親しみ、楽しく活動することができた。 ●学級担任を中心にした授業展開を研究し、ALTと連携教員との連携と充実を図る。
	⑤特別活動	- 指導計画の立案 - 学級活動、学級経営 - 学校行事 - 児童会活動	A	○学級活動、学校行事、クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として健全な生活態度を育んだ。 ●学級会、学級活動の研究を深める。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	- 指導計画の立案 - 指導内容の充実 - 指導方法の工夫と改善 - 評価の工夫	B	○体験活動を計画的・積極的に授業に組み入れ、人や自然、地域とのふれあいによる体験から実感した課題解決に向けた学びを充実させた。 ●授業時数の変更に伴った課題設定の精選と見直しを図る。
	⑦生徒指導	- 組織的な生徒指導 - 問題行動への対処 - 教育相談、児童理解 - いじめ防止対策 - 保護者、地域、諸機関との連携	B	○組織として共通理解のもと、児童一人ひとりを大切に生徒指導を行った。また、他機関と連携した教育相談の充実を図ることができた。 ●学年・学級を超えた生徒指導への共通認識を確実に行う。
	⑧キャリア教育	- 計画の立案 - 指導内容の充実 - 中学校との連携 - 啓発的経験の充実 - 家庭、地域との連携強化	B	○各学年の発達段階に応じて、教科や領域と絡めながら、人や自然、地域との関わり等をもつことができた。 ●中学校との接続、及びキャリア発達に応じた年間指導計画の作成。
	⑨特別支援教育	- 個別の指導計画、支援計画 - 指導方法の工夫と改善 - 通常学級との交流 - 諸機関との連携 - 校内支援体制の整備	B	○一人ひとりの児童の特性に応じたきめ細やかな指導の推進及び全教員の共通理解を図る研修会の充実が図れた。 ●関係諸機関及び家庭との一層の連携及び職員の共通理解の深化。
	⑩学校図書館教育	- 指導計画、支援計画の作成 - 図書館補助員の活用 - 諸機関との連携 - 図書館の整備 - 図書館利用の工夫	A	○司書教諭を中心に図書館補助員及び草加市中央図書館サービスの有効な活用と充実を図った。また読み聞かせボランティアの活用を行った。 ●読書好きな児童を育成する取組の推進。
	⑪情報教育	- 教育計画の作成 - 校内研修の充実 - ICT機器の積極的な活用 - 情報モラル教育の推進	A	○授業等でICT機器の有効的な活用を図ることができた。 ●更なるICTの有効活用の研究を継続する。
	⑫人権教育	- 全体計画の策定 - 各教科との関連 - 人権感覚の育成 - 校内研修の充実	A	○教育課程計画に基づき、教育活動を実施・評価を行い、児童の力の伸長を図る事ができた。また、授業時数の配当も適切に行うことができた。 ●道徳・総合的な学習の時間等の時数と取組の内容。

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	○学習指導	・埼玉県学力学習状況調査等の結果の活用 ・実態に応じた指導	A	○埼玉県学力学習状況調査等の結果を踏まえ、組織として結果分析、課題解決に向けて取り組むことができた。 ●児童一人ひとりの伸びを把握し、9年間の学びを系統立てた指導の実施。
	○幼保小中連携教育	・幼保小中学校(園)との連携の推進	A	○作品展や、連絡協議会、合同給食等を通し、地域の幼稚園、保育園、小学校、中学校との交流を図ることができた。小中一貫教育の研究と充実した実践を行った。教職員間の連携及び研修の充実を図ることができた。また、家庭学習強化週間を設定し、中学校区3校合同で取り組むことができた。 ●現在の連携の継続と改善を図る。
	○体力向上	○児童の体力向上にむけた教育活動の実施	A	○体育授業および体育的行事を中心に児童の体力の向上を図る教育活動を行うことができた。授業内での投力の強化を図った。また体育大会参加に向けた練習の充実を図った。 ●さらなる体育大会に向けた取組の工夫と改善及び体力の強化に向けた体育授業の実践を行う。

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

- 全職員が学校経営目標の理念のもと、共通理解、共通実践し、学校経営にあたることができた。特に、教員の授業力の向上、生徒指導力の向上・教育相談の充実、基本的な生活習慣の確立については、一歩前進することができた。
また、家庭・地域の理解や協力のもと、家庭学習の充実、安全・安心な教育環境の推進を行うことができた。
- 教育環境が整備され、児童が落ち着いて学習に取り組んでいる。
- 本年度より、市教委から「特別の教科 道徳」の委嘱を受け、授業改善、評価の在り方について研修を進め、教職員同士の共通理解を深め、組織力を高めることができた。
- 幼保小中一貫教育に関する取組は、幼保を交えた合同研修や協議会を行い、充実が図られた。今後も継続し、さらなる発展を目指していく。

6 次年度の改善策

- 本校の特色であるペアスクールの新田中学校や地域の異校種との交流を更に深め、一貫教育を引き続き推進していく。特に開校40周年を迎えるにあたり、行事や式典等への取組を通して、小中の連携を一層深めていきたい。また、家庭・地域との厚い信頼関係を構築し、三者連携のもとに児童の未来を見据えた教育の充実を進めていく。
- 環境美化のさらなる充実を目指し、児童に作品掲示を中心に豊かな掲示教育及び清掃活動の充実を図り、豊かな心をはぐくむ。また校地内の美化を目指し、保護者の協力を得て、教育環境をさらに美しくする。
- 来年度の「特別の教科 道徳」の研究発表に向け、校内研修を充実させ、家庭・地域との連携による、「長栄小の道徳教育」の充実を図る。
- 「読書好きな児童の育成」を目指し、図書教育の充実を図り、本校の読書量を増やす。